
アプリケーション理解

Excel VBA

【目次】

画像ビューアを作ってみよう.....	3
image ツールとコンボボックスツールをはりつける.....	3
ファイルを検索する.....	4
絵を表示してみましよう.....	4
画像ビューアを作る.....	5

画像ビューアーを作ってみよう

今回は、ユーザーフォームを使って、画像ビューアーを作ってみましょう。画像ビューアーとは選択した画像ファイルを表示するものです。

image ツールとコンボボックスツールをはりつける

image とコンボボックスをフォームに配置します。

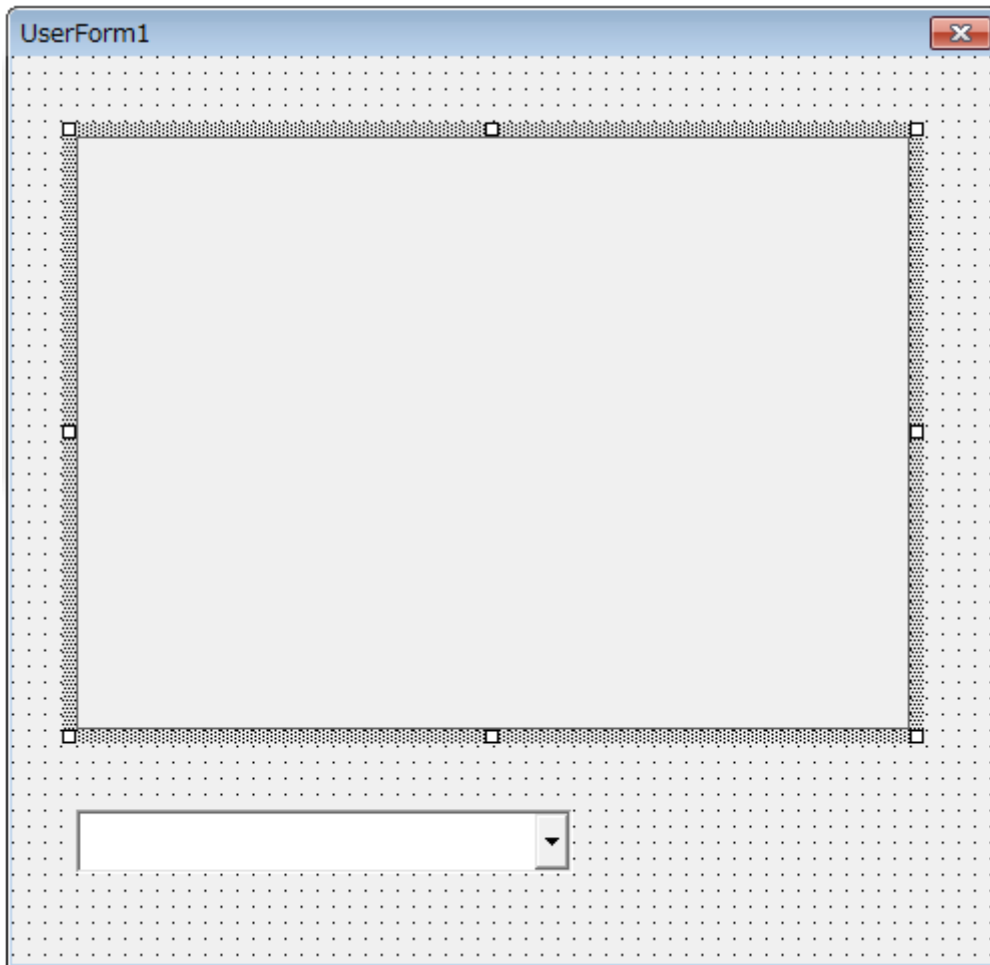


image は大きめに作りましょう。そして、その下にコンボボックスです。

image のプロパティで、PictureSizeMode を 3-PictureSizeModeZoom にします。

Picture	(なし)
PictureAlignment	2 - fmPictureAlignmentCenter
PictureSizeMode	3 - fmPictureSizeModeZoom
PictureTiling	False
SpecialEffect	0 - fmSpecialEffectFlat

ファイルを検索する

フォルダーを指定してファイルを検索するには Dir() を使います。
UserForm_Initialize() 関数の中でこの Dir を使ってみましょう。

```
Private Sub UserForm_Initialize()  
    Dim filename As String  
    filename = Dir("C:\Users\Public\Pictures\Sample Pictures\*.jpg", vbNormal)  
    Cells(2, 1).Value = filename  
End Sub
```

これで、Sheet1 の A2 に Chrysanthemum.jpg と表示されたと思います。
これは、サンプルピクチャフォルダーを検索して、最初に発見されたファイルの名前です。
花の写真になります。
では、2つ目のファイルはどうやったら見つかるでしょう。それは、空っぽの Dir() をもう一度やればいいのです。

```
Private Sub UserForm_Initialize()  
    Dim filename As String  
    filename = Dir("C:\Users\Public\Pictures\Sample Pictures\*.jpg", vbNormal)  
    Cells(2, 1).Value = filename  
    filename = Dir()  
    Cells(3, 1).Value = filename  
End Sub
```

そして、最後の一つを読み込んで更にもう一度 Dir() をすると、filename に空っぽが返ってきます。つまり、空っぽが返るまでループすれば、フォルダーの中身をすべて取得することができるわけです。

絵を表示してみましょう

つづいて、絵の表示をしてみましょう。

```
Private Sub ComboBox1_Change()  
    Image1.Picture = LoadPicture("C:\Users\Public\Pictures\Sample Pictures\Chrysanthemum.jpg")  
End Sub
```

これを入れて、コンボボックスになにか文字を入れると絵が表示されます。

これで、ファイルの検索と絵の表示方法がわかりました。ただし、サンプルピクチャのフォルダー名を使うと他のフォルダーが使えなくなってしまうので、Sheet1 の A1 に検索したいフォルダー名を書いて、プログラムでそれを読むようにしてみましょう。

	A	B	C	D
1	C:\Users\Public\Pictures\Sample Pictures			
2				
3				

そして、プログラムを修正します。

```
Private Sub ComboBox1_Change()  
    Image1.Picture = LoadPicture(Cells(1, 1).Value & "\¥" & "Chrysanthemum.jpg")  
End Sub
```

これで、指定したフォルダーの中のファイルを表示することができるようになります。

画像ビューワーを作る

コンボボックスで選択したファイルを表示するには、以下のようにすればできることがわかるといえます。ComboBox1.Text とは、選択した文字列ということです。つまり、コンボボックスの RowSource に検索したファイル名の範囲を指定すればできそうですね。

```
Private Sub ComboBox1_Change()  
    Image1.Picture = LoadPicture(Cells(1, 1) & "\¥" & ComboBox1.Text)  
End Sub
```

```

Private Sub UserForm_Initialize()
    Dim lastRow As Long
    Const cnsDIR = "¥*.jpg"
    Const cnsTitle = "画像ビューワー"
    Dim strPathName As String, vntPathName As Variant
    Dim strFileName As String
    Dim GYO As Long

    vntPathName = Cells(1, 1).Value
    If VarType(vntPathName) = vbBoolean Then Exit Sub
    strPathName = vntPathName
    ' フォルダの存在確認
    If Dir(strPathName, vbDirectory) = "" Then
        MsgBox "指定のフォルダは存在しません。", vbExclamation, cnsTitle
        Exit Sub
    End If

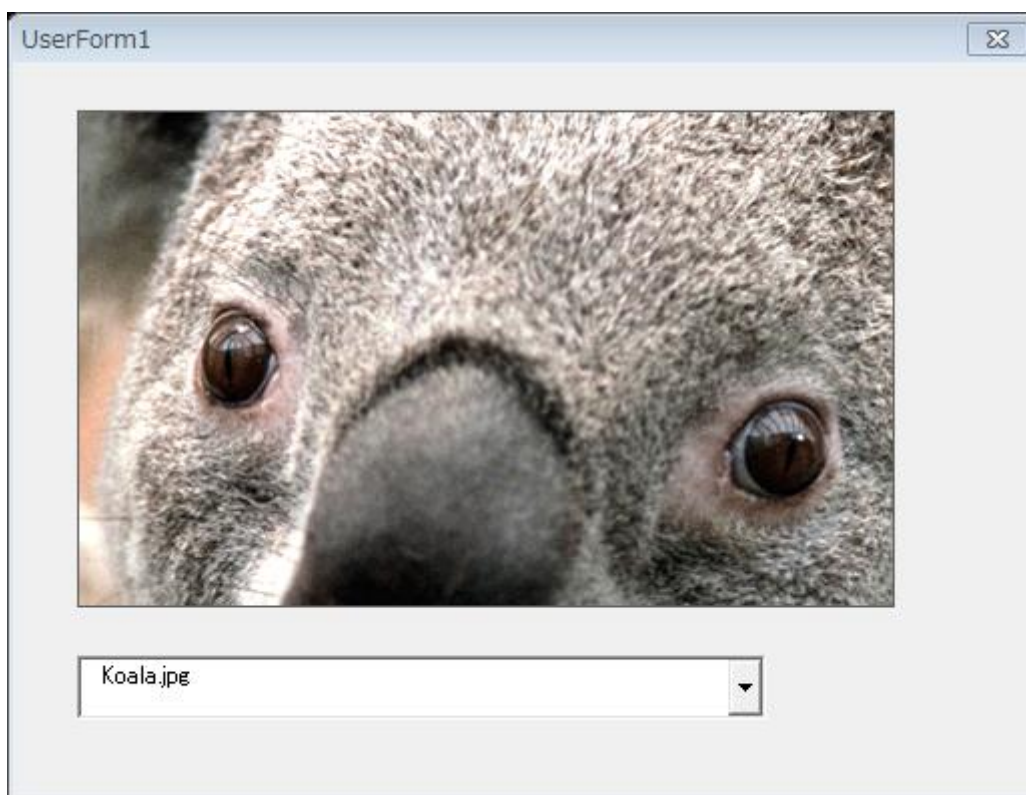
    ' 先頭のファイル名の取得
    strFileName = Dir(strPathName & cnsDIR, vbNormal)
    GYO = 1
    ' ファイルが見つからなくなるまで繰り返す
    Do While strFileName <> "" ' ④
        ' 行を加算
        GYO = GYO + 1 ' 先頭は 1 行目
        Cells(GYO, 1).Value = strFileName ' ⑤
        ' 次のファイル名を取得
        strFileName = Dir() ' ⑥
    Loop

    lastRow = ActiveSheet.Cells(Rows.Count, 1).End(xlUp).Row
    ComboBox1.RowSource = "A2:A" & lastRow
End Sub

```

これで、A1 に指定フォルダー、2 行目以降に検索したファイル名が設定されます。これを

RowSource にしてコンボボックスを表示して、それを選択すると絵が表示されるはずですが。



コアラの表示です。

A1 のフォルダー名を変更すれば、どのフォルダーでも表示できます。ただし jpg ファイル
だけしか表示できません。プログラムの¥*.jpg を他の画像ファイルに変えれば gif や png
も表示できます。¥*.*にすると、画像ファイルでないものも表示されますので、画像でない
ものは選択しないのであれば、使えます。